

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		スポーツ少年団助成				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区社会教育関係団体青少年スポーツ振興事業補助金交付要綱				
	事業対象	台東区スポーツ少年団							
	事業目的	スポーツ少年団活動を通じて、青少年の協調性や思いやりなどの豊かな情操を養い、心身の健全育成を図る。							
	事業内容	スポーツ活動を通じて、青少年の心身の健全育成を図ることを目的とした、台東区スポーツ少年団の事業について必要経費の一部を補助金の交付する。 (初心者スポーツ教室 274,000円)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	スポーツ少年団団体数 (団体)		15	13	13	12		
	成果指標	登録者数 (人)		400	308	364	362		
	決算額 (単位：千円)				320	720	274		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			162	801	852		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			0	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			320	720	274		
		総経費			482	1,521	1,126		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			482	1,521	1,126				
前年度から改善した事項		台東区体育協会と連携しジュニア育成に努めるとともに、ホームページや広報等で団員を募集し、団員数の増加に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	子どもの体力向上への具体的施策であり、かつ豊かな情操を養うことに寄与する本活動へのニーズは高い。						
	効率性	3	平成24年度から減少した経費は、平成25年度が姉妹都市(大崎市)交流年に該当しなかったためであり、コストや効率性について大きな変化はない。						
	手段の適切性	3	社会教育委員会議での審査を経て、補助金交付決定を行っている。また、実績報告に基づき精算を行っており、手続きも適正である。						
	目的達成度	4	区と連携し子どもむけのスポーツひろば事業などを実施し、区内の青少年の体力向上や健全育成に役立っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
初心者教室等の活動を支援し、青少年健全育成とスポーツ振興に努めている。						維持			